

広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

学 生 募 集 要 項

令和2(2020)年10月入学

放射線災害医療コース推薦入試
「放射線災害から生命を護る医師枠」

令和元(2019)年 10 月



広島大学

概 要

以下に挙げるアドミッション・ポリシーに合致し、放射線災害医療コースの目標に4年間の広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」の履修によって到達すると見込まれる人、特に災害時において、診療・治療の資格を持って活躍できる人の入学を求め、放射線災害医療コース推薦入試「放射線災害から生命を守る医師枠」を実施します。

○大学院博士課程リーダー育成プログラムのアドミッション・ポリシー

広島大学では、人類が解決を迫られている複雑な課題に挑戦し、世界の平和で持続的な発展に貢献するため、大学院改革の一環として、複数の研究科を横断する分野融合型の博士課程を学位プログラムとして新たに開設しました。従来の学問分野、研究領域の枠組みを超えて、新たな知を創造できる人材を育成し、グローバルリーダーとして社会に輩出していきます。

○放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムのアドミッション・ポリシー

放射線による災害は全世界に影響を及ぼすグローバルな問題であり、それに対処し放射線災害復興を担うためには、学際力、国際力、マネジメント力を備えた人材が必要です。

本プログラムでは、医学、環境学、工学、理学、社会学、教育学、心理学などの基礎的知識を有し、放射線災害からの復興を、「放射線災害から生命を守る」、「放射能から環境を守る」、「放射能から社会と子どもを守る」観点から、横断的かつ統合的にマネジメントし、国際的に活躍できる分野横断・統合的グローバルリーダーの育成を目指しており、次のような学生を求めています。

- (1) 横断的知識と技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- (2) 人の痛みがわかり、災害復興に貢献したいと強く願う人
- (3) リーダーとなって、地域・国際社会で活躍したい人
- (4) 意欲、行動力、責任力、人間力に優れた人

○放射線災害医療コースの目標 —放射線災害から生命を守る人材—

- ・ 原発作業員などへの急性放射線障害の病態把握と診断・治療ができる
- ・ 一般住民などへの低線量被ばくの影響評価ができる
- ・ 内部被ばく・外部被ばくの的確な線量評価ができる
- ・ 放射線高感受性である胎児・小児への適切な影響評価と診断・治療ができる
- ・ 放射線による発がんや遺伝的影響の機序とそのリスク評価ができる
- ・ 放射能汚染ストレス下における心理学的評価とメンタルケアができる

令和2(2020)年10月より本学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」に推薦入学させる学生を次のとおり募集します。

1. 募集人員

放射線災害医療コース（4年制） 若干名

※大学院医系科学研究科博士課程医歯薬学専攻（霞キャンパス）に入学します。

2. 出願資格

次の各号の全てに該当する者

- (1) 日本国の医師免許又は歯科医師免許を有する者で所定の臨床研修を受けた者
- (2) 医師法(昭和23年法律201号)又は歯科医師法(昭和23年法律202号)の第3条及び第4条の規定に該当しない者
- (3) 出願時に職を有する者で、入学後も引き続き在職する場合は、所属長等の承諾が得られる者

3. 出願手続

出願方法は、原則として「インターネット出願」としますが、持参又は郵送による提出もできますので、いずれかの方法により出願してください。

【注1】志願者は、必ず出願前に、「インフォメーションシート」を作成し、「**7. 照会及び出願書類等の提出先**」に提出の上、「**9. プログラム担当者（指導教員）一覧表**」及び本プログラムホームページを参照し、主任指導を希望するプログラム担当者と、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し、主任指導の了承を得てください。

【注2】出願書類等に不備のある場合、及び出願期間内に入学検定料30,000円の支払いが完了していない場合は、受理しません。

【注3】本プログラムを履修する学生は、「フェニックスリーダー育成プログラム」の修了要件に加え、医系科学研究科博士課程医歯薬学専攻の修了要件を満たす必要があります。

(1) 出願期間：

令和元(2019)年12月10日(火)から令和元(2019)年12月19日(木)午後5時まで(必着)

持参、郵送の場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。

なお、郵送による場合は必ず書留郵便で、封筒表面に「プログラム願書（推薦入試）在中」と朱書してください。

(2) インターネット出願の流れ

①インターネット出願システムにアクセスし、出願する試験制度を選択

インターネット出願のページは、広島大学入試情報のホームページからアクセスできます。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>

②志望情報及び個人情報を入力

志望するコース、氏名、連絡先、希望する指導教員等を画面の案内に従って入力してください。

③必要書類の確認及び写真のアップロード

出願の内容に応じた必要書類が表示されるので確認し、デジタル写真（上半身、脱帽、正面向きで

最近3か月以内にカラー又は白黒で撮影したもの)をアップロードしてください。画面の説明に従って、アップロードしたデジタル写真を証明写真の構図に編集した後、インターネットで提出できます。

④決済情報を入力 (入学検定料：30,000円)

以下の支払方法から一つを選択し、支払手続を行ってください。

- ・クレジットカード (VISA・MasterCard・JCB・AMERICAN EXPRESS・Diners Club)
- ・コンビニ (セブンイレブン, ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, デイリーヤマザキ, セイコーマート)
- ・金融機関ATM【Pay-easy】
- ・ネットバンキング

(注1) 日本国外からは、クレジットカード決済のみ利用できます。

(注2) 上記①から④までの支払手続を行えない場合は、事前にフェニックスリーダー育成プログラム事務室にお問い合わせください。

⑤出願登録の完了 (まだ出願は完了していません)

出願番号(受験番号ではありません)が発行されるので、メモするか、画面を印刷してください。

出願番号は、後で出願情報を確認する際と、出願書類を郵送する際に必要です。

なお、コンビニ・ATM【Pay-easy】を選択した場合は、入学検定料の支払に必要な情報(各種番号)もメモしてください。

⑥出願書類のアップロード

以下の出願書類をPDF 又はJPEG でアップロードしてください。

⑦出願書類の郵送 (「(4)出願書類等の提出」参照)

〈注意〉

出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。出願期間内に到着するように、簡易書留郵便(又はEMS: Express Mail Service 等)で必要な書類を郵送する必要があります。

(3) 出願書類等

	書類の名称	摘 要
ア	入学志願票	所定の様式を使用してください。
イ	医師又は歯科医師免許証の写し	
ウ	研究計画書	所定の様式を使用してください。
エ	推薦書	所定の様式を使用し、研修指導者、所属長等が作成の上、提出してください。
オ	小論文	所定の様式を使用し、用紙に記載されている小論文1及び2の課題について記述してください。
カ	受験承諾書	出願資格(3)に該当する場合のみ、提出してください。
キ	英語検定試験等の成績証明書等	入学試験日から原則2年以内に実施された英語検定試験等(TOEIC [®] 公開テスト, TOEIC [®] -IP(カレッジ TOEIC [®] 含む), TOEFL [®] -PBT, TOEFL [®] -iBT 等)のスコア証明書等の英語能力を証明する書類を提出すること(複数提出可)。英語検定等を実施する公的機関が発行する書類であること。

ク	住民票の写し又は住民票記載事項証明書	外国人の志願者で日本に在住している者
ケ	入学検定料 30,000 円 (出願期間内に支払うこと)	持参又は郵送により出願する志願者には、広島大学入学検定料振込依頼書(入金票)【本学専用用紙】を郵送します。入学志願票貼付用、志願者保管用、入学検定料振込依頼書(入金票)の太ワクの中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して、指定の期日までに、都市銀行、地方銀行等の本支店の窓口で振り込んでください。(ATMからは振り込めないため、注意してください。)なお、振込手数料は振込人の負担となります。 ※振込後、受付金融機関出納印のある「入学検定料振込証明書」を提出してください。

所定の様式は、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

(<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/>)

(4) 出願書類等の提出

① 提出方法

出願期間中に、原則として持参又は郵送（簡易書留郵便など、配達記録が残る方法に限る。）で提出してください。郵送による場合は、封筒表面に「プログラム願書在中」と朱書してください。電子メールに添付して提出する場合は、後日証明書類の原本か、原本証明された写しを提出してください。

出願書類等が出願期間中に届かない場合、及び出願書類等に不備がある場合は、受理しません。なお、書類等の郵送は、必ずしもインターネットによる出願登録後である必要はありません。特に、郵送に時間がかかることが見込まれる海外から出願される方は、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

② 提出先

「7. 照会及び出願書類等の提出先」参照

(5) その他

- ① 受付後の記載内容の変更は、認めません。
- ② 出願書類及び入学検定料は、返還しません*。
- ③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。但し、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。
- ④ 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- ⑤ 卒業(修了)見込で出願して合格した者が、入学日までに卒業(修了)できなかった場合、入学を許可しません。

* 入学検定料に係る注意事項

出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

ただし、次の(1)、(2)の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、フェニックスリーダー育成プログラム事務室までお問い合わせください。

- (1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

4. 選抜の方法等

(1) 第1次選抜(書類審査)

志願者の出願書類に基づき、第1次選抜を行います。

この結果は、令和2(2020)年2月4日(火)に電子メールにより通知します。

(2) 第2次選抜(面接審査)

期間：令和2(2020)年2月29日(土)

場所：広島大学 霞キャンパス (広島市)

第1次選抜(書類審査)に合格した者に、本学の指定する会場において、プログラム(学問分野、リーダーシップの素養、英語力等)に関する個別口頭試問及び出願時に提出された書類に基づいた個別口述試験を行います。

試験実施の日時・場所についての詳細は、後日、出願者に個別に連絡します。

(3) 合否判定方法及び採点評価基準

① 入学者選抜の合否判定方法

下記の採点評価基準に従い、書類審査及び面接審査等の結果を踏まえ、総合的に判定します。

② 採点評価基準

書類審査及び面接審査、語学能力を考慮して総合的に選考します。なお、選抜試験は、志望の動機、志望分野への適性及び基礎学力を選考の評価基準とし、三段階評価を行います。

(4) 合格者の発表：令和2(2020)年4月10日(金)午前10時(予定)

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ

(<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>)に掲載し、合格者には電子メール及び郵送により通知します。なお、電話等による照会には、原則として応じません。

5. 修学上の経済支援について

本プログラム履修学生に対して、現在、次の(1)(2)の支援を行っています。詳しくは、本プログラムホームページ (<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>) を参照してください。

(1) 成績優秀者に対する奨学金給付 (LP エクセレント奨学金)

(2) 成績が優秀で、かつ、経済的な理由により授業料納入が困難な者に対する授業料免除 (全額または半額)

また、修学上必要となる経費について、本プログラムが定める範囲において支給します。

※上記(1)(2)の経済支援は、令和元(2019)年10月現在のものであり、変更が生じる場合があります。

6. 入学に要する経費

(1) 入学料 282,000 円

(2) 授業料(年額) 535,800 円

① 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

② 上記記載の金額は令和元(2019)年10月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。

7. 照会及び出願書類等の提出先 (出願等の際して不明な点があれば、下記へ照会してください)

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室 (霞キャンパス学生支援グループ内)

〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号

Tel: 082-257-1995 E-mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp

電子メールでのお問い合わせの際には、件名に「[●● (あなたのお名前)] 出願について」と書いてお送りください。

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ

(<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>)

8. キャンパス内全面禁煙

広島大学は、令和2(2020)年1月からキャンパス内全面禁煙になります。

※霞キャンパスでは、平成30(2018)年4月から全面禁煙となっています。

9. プログラム担当者（指導教員）一覧表

- (1) プログラム担当者（指導教員）一覧表は令和元(2019)年10月1日現在のものであり、変更が生じる場合があります。
- (2) プログラム担当者については、本プログラムホームページをご確認ください。
[\(http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/lab/\)](http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/lab/)

令和元(2019)年10月1日現在

	氏名	職名	専門	所属する研究科・専攻の修了要件プログラム
放射線災害医療コース	田代 聡 (コースリーダー)	教授	生化学、分子生物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
	松浦 伸也	教授	遺伝医学、放射線生物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
	稲葉 俊哉	教授	血液学、分子生物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
	東 幸仁	教授	循環器内科	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
	廣橋 伸之	教授	放射線災害医療、救急医学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
	保田 浩志	教授	放射線防護、線量評価	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
	永田 靖	教授	放射線腫瘍学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム
	栗井 和夫	教授	放射線診断学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム
	安井 弥	教授	人体病理学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム
	志馬 伸朗	教授	救急集中治療医学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム
	田中 純子	教授	衛生学、公衆衛生学、疫学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム
	茶山 一彰	教授	消化器病学、肝臓病学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム
	岡本 哲治	教授	口腔外科学、口腔科学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 歯学専門プログラム
	宿南 知佐	教授	口腔生化学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 歯学専門プログラム
小松澤 均	教授	細菌学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 歯学専門プログラム	